

インフルエンザ予防接種 予約受付中

■予防接種で重症化を防ぎましょう

毎年冬から春はインフルエンザの流行シーズンです。流行前に予防接種を受けることで発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぐことができます。



■接種は「完全予約制」です

亀田クリニックでは、下記のとおり10月18日(月)から年末にかけて、3階特設会場にてインフルエンザの集団接種を実施いたします。

接種会場の3密を避けるため、今年も「完全予約制」となりますので、例年のように受診のついでに当日接種を希望されても、お受けできない場合があります。予防接種を希望される方は、「事前予約」にご協力くださいますようお願いいたします。

■接種期間: 10月18日(月)～12月25日(土)

(接種は14:00～16:00の時間帯で実施)

■対象: 生後6ヶ月以上のすべての方

■接種回数: 生後6ヶ月～12歳は2回、13歳以上は1回

■費用: 4,000円(税込)/1回

(自治体によっては助成制度あり)

《ご注意ください》

新型コロナワクチンと接種時期が重なる方も出てくるかと思いますが、新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種間隔は2週間あける必要があります。そのため、新型コロナワクチン1回目接種日の前2週間と、2回目接種日の後2週間は、インフルエンザワクチンの接種はできません。ご予約の際は、その点を考慮して予約日程をご検討ください。

⇒医療エッセイのコーナーでインフルエンザワクチンについて特集しています。あわせてご覧ください。

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FMラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

10月はスポーツ医学科主任部長の大内洋医師が、「オーバーユース」についてお話しいたします。ぜひ、お聴きください。



亀田クリニック 10月の診療について

2021年は「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催に伴い、「国民の祝日に関する法律」の特例により、祝日が一部移動しています。

10月の祝日(第2月曜日「スポーツの日」)は、今年に限り7月23日に移動しているため、**【10月11日(月)は平日につき通常診療】**となります。

※改正前に作成されたカレンダーをお使いの方は、お間違いのないようご注意ください。

いざという時に備え システムダウン訓練を実施

医療機関では、電子カルテを中心にさまざまなシステムを使って診療業務を行っています。災害やハードウェア故障、コンピュータウイルス感染等によって、そ



これらのシステムが突然使用できなくなる可能性があります。そのような状況下でも、可能な限り安全に診療業務が行えるよう、9月11日(土)午後、当院では初となる大規模なシステムダウン訓練が行われました。

訓練は、午前10時に亀田クリニックと亀田総合病院で通常診療中に突然電子カルテが閲覧・操作できなくなる不具合が発生したというシナリオのもとにスタート。電子カルテダウン時の事業継続計画に沿って、統括本部・事業所対策本部の立ち上げや運用について実働訓練を行ったほか、外来・入院病棟・救急外来では想定患者(診察中・検査中・診察待ち・会計待ちなど)を数名設定し、紙カルテや紙伝票の運用や退院時の対応などを机上訓練しました。

訓練後、統括本部長を務めた亀田俊明病院長は、「実際にやってみるとスムーズにいかないことがあり、課題も多く見つかった」と訓練を振り返りました。特にシステム障害の場合は、一つの事業所で発生したものがシステムを共有する他事業所にも影響することが想定され、物理的に離れた事業所との連携体制も非常に重要です。万が一に備え、当院では今後もさまざまなケースを想定し継続的に訓練を行っていく予定です。

専門医に聞く インフルエンザ予防接種 Q&A



10月から当院でもインフルエンザ予防接種の予約受付がはじまりました。

昨シーズンは、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されましたが、結果としてインフルエンザの流行はほとんどみられませんでした。今シーズン、インフルエンザは流行するのでしょうか？そして、インフルエンザの予防接種は受けた方がよいのでしょうか？皆さまの疑問を、当院感染症科部長の細川直登医師に聞きました。



Q. 昨シーズン、なぜインフルエンザが激減したの？

A. 科学的な根拠が明らかになったわけはありませんが、おそらく皆さんがマスクをして、手指衛生に気を付けたからだと思います。



コロナとインフルエンザは同じ“飛沫感染”と“接触感染”という感染経路で感染します。飛沫感染を防ぐためにはマスクが有効で、接触感染を防ぐためには手指衛生が有効です。これらを徹底したために流行が抑えられた、と考えて良いと思います。

Q. 今シーズン、インフルエンザは流行するの？

A. わかりません。

去年と同様に皆さんがマスクをして手指衛生を徹底すれば流行が起らないかもしれません。しかし、去年流行しなかったことで、多くの人がインフルエンザに対する抵抗力が弱い(抗体などの免疫力が弱い)状態になっていると考えられ、逆に流行しやすくなるかもしれません。お子さんの間で流行するRSウイルスというウ

イルスが、今年の初めに大流行したことが知られており、これはコロナの流行で一昨年RSウイルスが全く流行しなかったためではないか、と考えられています。そのような例もありますので、どちらになるかわかりません。

Q. インフルエンザワクチンは打った方がいいの？

A. 打った方が良いと言えます。

前述の通り、インフルエンザに対して抵抗力の弱い人がたくさんいる可能性がありますが、ワクチンで抵抗力をつけることができるからです。多くの人がワクチンを打つことで、流行が抑えられる可能性があると考えられます。



特に、インフルエンザにかかった時に重症になりやすい、高齢者、心臓・腎臓・肺など重要な臓器に基礎疾患がある方、妊娠中の方などは接種が強く勧められています。

Q. インフルエンザワクチンはいつ頃までに打ったらいいの？

A. 流行が始まるのが、例年11月下旬ごろから12月にかけてなので、その頃までに接種しておく方が良いと考えられます。

Q. これから新型コロナワクチンの接種を受ける予定だけれど、インフルエンザワクチンの接種はどれくらい間隔を空けた方がいいの？他に何か注意点はあ

A. 新型コロナワクチンは他のワクチンと2週間空けて接種することが推奨されています。インフルエンザワクチンを接種する場合も、前後2週間空けて接種する計画をたててください。特別な注意事項はありません。

昨年に引き続き、当院でのインフルエンザ予防接種は「完全予約制」となっています。接種を希望される方は、お早めに予約をお願いいたします。

予約センター：04-7099-1111

(8:00 ~ 17:00/日曜・祝日除く)

医師紹介

くずめ あゆみ 医師
葛目 亜弓

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①血液・腫瘍内科(内科専攻医)
- ②内科
- ③バドミントン
- ④精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>